

2012 世界発!メダル級のエコ生活

世界にはいろいろな国があり、様々な暮らしぶりがあります。今回は、外国から日本へ来て暮らしている方、日本から外国へ出かけたり暮らしたりしたことのある方にインタビュー。世界のメダル級のエコ生活を大特集です!



FUSION CAFE
ポール・アンソニー・ベンソンさん
(イギリス)

ポールさん

イギリスでは田舎の生活や農業に関心が高まっていて、牧場が増えているんだ。イギリスの牧場では生き物のサイクルを考え、動物と麦、野菜などを一緒に育てるのが一般的。ファーマーズマーケット(農産物直売所)が併設されていることが多くて、新鮮な肉・野菜・卵が簡単に手に入るんだ。テレビの料理番組もただ料理を紹介するだけでなく、種から皿まで(栽培の様子から料理まで)のファームライフを見せる番組が大人気!あと、自分の庭で花を育てる人が多かったけど、最近は安心安全な野菜を食べたくて自分で育てる人も増えているよ。うちのカフェでも有機野菜を使っているから、食べに来てね!



デコドン



エネルギー

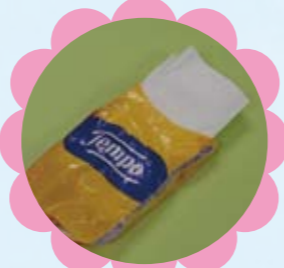
ロスさん

読書をする時などは電気スタンドを使い、友人とおしゃべりを楽しむだけなら、窓辺に行き、必要以上の電気は使わないようにしています。ロンドン中心部に車で進入すると料金が発生するコンジェスジョンチャージ(渋滞課税)で中心部の交通量は以前に比べ減少しましたが、そのエリアを避けて通る車の渋滞が僕は気になります。大きい視点で見ると、あらゆるものの輸入にかかる燃料は莫大だし、そこを何とかした方がもっと地球環境にいいんじゃないかな。できるだけシンプルに暮らしたいですね。

鹿児島大学
(左)ロス・バーンズさん(イギリス)
(右)ミヒャエル・シレニーさん(ドイツ)

ミヒャエルさん

小さい頃の勉強で覚えているのは、自転車の乗り方の授業です。ドイツでは車・自転車・人の道がきちんと分かれていてルールも厳しく、守らないと罰金となる場合もあります。ほとんどみんな守るので、気持ちよく安心安全に自転車に乗れる環境が整っています。ほかに、小さい話ですけど、ドイツのティッシュは丈夫で、鼻水の量にもよるけど何回か使えます!一回では捨てませんよ。



ドイツのティッシュ
3重構造で緑が圧着されていて、まるでハンカキみたいなんです!



鳥野ユリ子さん
(国際文化交流会TEN)

鳥野さん

シンガポールでは国を挙げて「クリーン&グリーン作戦」が行われています。クリーン作戦では、ゴミのポイ捨てはもちろん、吐き捨てて地面にごびりついてしまうガムの販売も禁止されています。グリーン作戦としては、街中や建物の中に緑を取り入れることが義務になっていて、個人の庭であっても、木や芝の手入れを怠ってはいけません。守らなければ罰金が科せられることもあります。



リチャード・ペドリンハムさん
(イギリス)

リチャードさん

オシボリはツカフナイヨ。使い捨てのものはもちろんだけど、繰り返し使うオシボリも、洗うのに水を使い汚してしまうから、モッタナイ!



ゴミダス



住吉小百合さん
(びわ湖温泉・玄米食房さゆりん)

住吉さん

インドネシアのバリには、旧暦の正月を意味する「ニュービの日」という日にお祭りがあります。電気も使えず、自動車も飛行機も動かず、大きな声での会話もできないこの日の朝は、木々の音、鳥の声、雨の音、川の音だけが聞こえてきました。その他に音はなくて、自然と一体となる感覚を覚えました。ニュービは世界に誇れるお祭りだと思います。日本にもこんな日があればいいな。



ミドリッキー



橋口舞さん(オランダ留学)

橋口さん

オランダでの生活の中で驚いたのは、食器の洗い方です。洗い桶の中でジャブジャブ洗剤で洗って、泡を洗い落とさずにディッシュラックに引き上げて、ふきんを使って食器に残った泡と食べカスを拭きとり、きれいにする。以上!という感じでした。洗剤を洗い流さず、必要以上の水を使わないのにビックリしました。



ミズビー

藤原さん

ドイツに留学して3年目になります。ドイツは環境先進国として有名ですが、環境によいことを無理してやっている感じはなく、暮らしの中にうまく溶け込んでいる気がします。スーパーでは食べ物が量り売りされていて、ペットボトルや瓶を入れるとお金が戻ってくる回収ボックスや、ゴミ分別ボックスが設置されています。フライブルク市では鹿児島市と同じく、路面電車の軌道敷が緑化されていますよ☆



藤原啓史さん
(ドイツ留学)



フライブルク市



鹿児島市

特集「世界発!メダル級のエコ生活」はいかがでしたか?

私たち日本人からすると驚きのエコ生活も、その国では普通のことだったりします。また逆に外国の方から見て、私たちが何気なくしていることが素晴らしいことだったりもすると思います。未来館ゾーン4の映像の最後は、

「世界は私たちひとりひとりからできている。だから、あなたや私がちょっと変われば、世界はやっぱり、ほんのちょっと変わっていくの。」(環境活動家:セヴァン・カリス=スズキ)

という言葉でしめくられます。世界のみんなが、それぞれの形でほんの少しずつでも環境のことを考えて行動すれば、大きな力になりそうですね!

※今回の特集の内容は、インタビューした方のお話を元に作成しています。同じ国内でも、地域等により記事の内容と異なる場合があります。ご了承ください。